



デスクトップオーディオシステム YAX-720

取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(i~iiiページ)を必ずお読みください。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。



保証書別添付

J

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
- 異常に高温になる。
- 内部に水や異物が混入した。● 煙が出る。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右10cm、上15cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm 以上離して使用ください。

ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

使用上のご注意



禁止

放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が入中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったらそのまま使用続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意


この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。

本体の  ボタンでシステムオフ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



必ず実行

付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。



禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の
原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に
障害をあたえるおそれがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべ
ての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になりま
す。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量
(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が
発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態
でしばらく放置してください。



注意

ブラウン管を使用したディスプレイから離して
設置する。

色むらが起きることがあります。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明
書をよく読み、説明に従って接続する。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜
く。

感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふか
ない。また接点復活剤を使用しない。

Bluetooth について

- Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

本機の無線方式について



「2.4」 2.4 GHz 帯を使用する無線設備

「FH」 変調方式は周波数ホッピング (FH-SS 方式)

「1」 想定干渉距離が 10 m 以内



全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

目次


各部名称とその機能	2
基本的な機能	4
便利な機能	6
ラジオを聴く	8
USB ポートを使用して充電する	9
外部機器の音楽を聴く	9
Bluetooth 機器の音楽を聴く	10
故障かな？と思ったら	13
主な仕様	14

■ 本機でできること

- フルートウース
－ **Bluetooth** 対応スマートフォン&タブレット、ラジオ、外部機器を高品質で再生。
更に NFC を用いればワンタッチでペアリングが出来ます。
- － コンパクトなボディながら、2.1ch スピーカーシステム（ツイーター × 2、ウーファー × 1）、
エスアールベース
SR-Bass™（ヤマハスイングラジエーターベース技術）と DSP により、しっかりした低音と立体的で
広がりのあるサウンドを実現。
- － ノブダイヤル、ガイド LED 付きスイッチによる、直感的でわかりやすいユーザーインターフェース。
- － iPhone/Android スマートフォンが便利なりモコンに。専用アプリ「DTA CONTROLLER^{コントローラー}」に対応。
- － USB 充電ポート搭載。

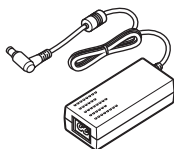
- ・ 本書で使用されている記号

ご注意 使用時の注意点や機能の制約が記載されています。

 知っておくと便利な補足情報が記載されています。

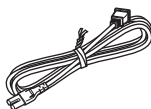
■ 付属品

AC アダプター



(DC 15 V、2.56 A、
モデルナンバー：
EADP-38EB A)

電源コード



AM アンテナ



USB キャップ

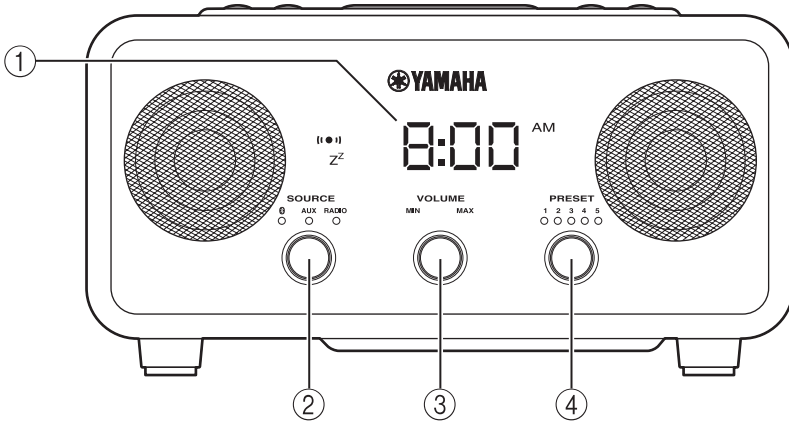


ご注意

USB キャップは、お子様が
飲み込まないように、お子様
の手の届かないところに保
管してください。

各部名称とその機能

■ フロントパネル



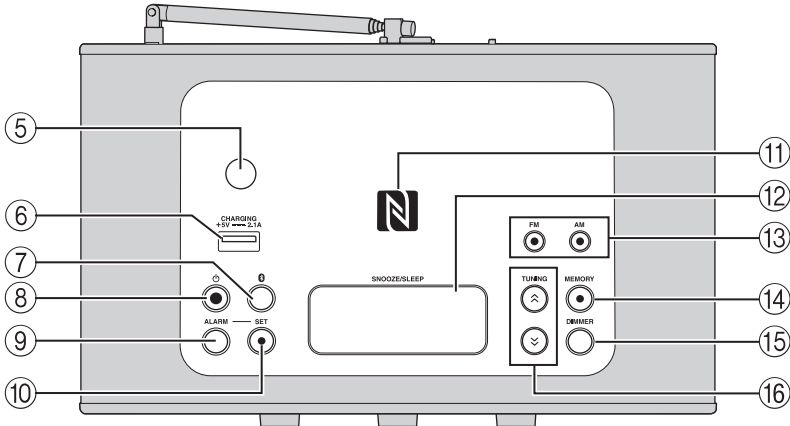
① フロントパネルディスプレイ

ソース ブルートゥース ラジオ
② **SOURCE** : Bluetooth、AUX、RADIO 切替

③ VOLUME : 音量調整

プリセット
④ **PRESET** : ラジオの放送局を FM/AM それぞれ
5 局まで登録 / 呼出ができます。(P. 8)

■ トップパネル



⑤ 照度センサー : 周囲の明るさを感じします。

DIMMER (⑮) が A (オート) の時は、センサーが隠れないようにしてください。

⑥ CHARGING : USB ケーブルでスマートフォンなどのポータブル機器を接続した時に、接続した機器を充電することができます (5V/2.1A 出力)。(P. 9)

⑦ Bluetooth : 押すと以下の操作を行います。

- Bluetooth 接続されている場合は切断します。(P. 12)
- 本機が最後に Bluetooth 接続した音楽プレーヤーを探して接続します。(P. 12)

⑧ 電源ボタン : システムオン / オフ切替

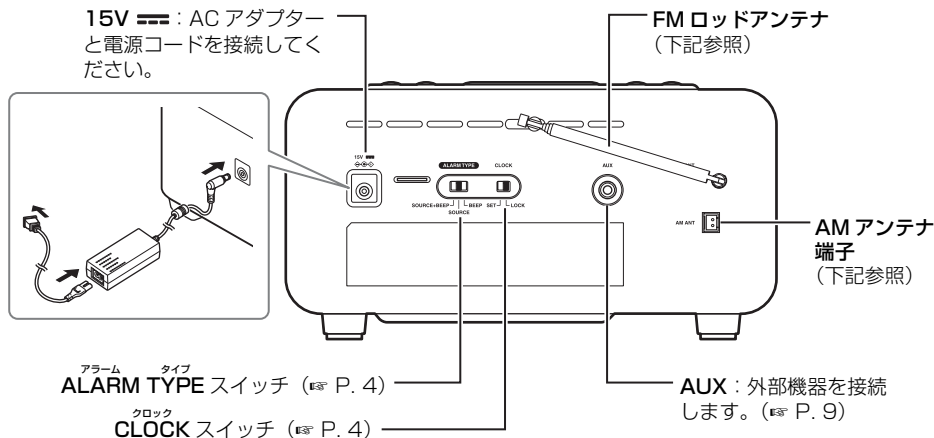
システムオフ時にも時刻は表示されます。



- 本体の電源ボタンを 3 秒以上押し続けると、システムがスタンバイに切り替わります。スタンバイ時には、フロントパネルディスプレイの表示がされなくなり、電力の消費を抑えることができます。スタンバイを解除するには、電源ボタンを押します。
- システムオフおよびスタンバイ時でもアラーム機能は作動します。

- アラーム
- ⑨ **ALARM** : アラーム機能オン / オフ切替 (※ P. 5)
- ⑩ **SET** : アラーム設定 (※ P. 4)
- ⑪ **NFC マーク** : NFC テクノロジーを使用した、かんたんペアリングが行えます。(※ P. 11).
- スリープ
- ⑫ **SNOOZE/SLEEP** (※ P. 5)
- ⑬ **FM、AM** : FM/AM ラジオ切替
- メモリー
- ⑭ **MEMORY** (※ P. 8)
- ディマー
- ⑮ **DIMMER** : フロントパネルディスプレイの明るさを調整できます。
A (オート) → 3 (明るい) → 2 → 1 (暗い)
→ A へ戻る
- ⑯ (オート) に設定した場合、自動的に室内の明るさに適した明るさに調整します。
- チューニング
- ⑰ **TUNING** (※ P. 8)

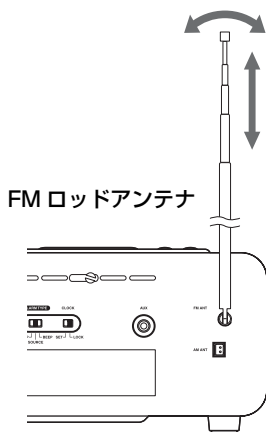
■ リアパネル



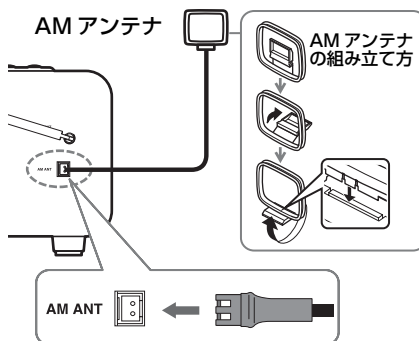
■ ロッドアンテナを伸ばす

ご注意

- FM を聞く場合は、ロッドアンテナを伸ばしてください。
- 受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。



■ AM アンテナを接続する



ご注意

- 受信状況の良い場所を探して、アンテナを配置してください。
- アンテナの近くにデジタル機器等があると影響を受ける場合があります。

基本的な機能

時計を合わせる



- 1 **CLOCK** スイッチを **SET** に合わせる。
- 2 **TUNING** ボタンで時刻を合わせる。
- 3 **CLOCK** スイッチを **LOCK** に合わせる。

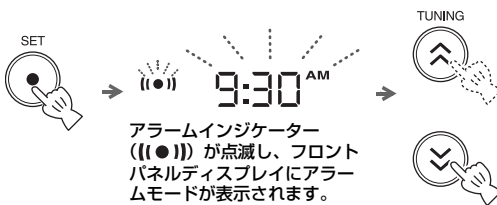
ご注意

電源コードをコンセントから抜くなどして、電力が1週間以上供給されないと、時計の設定はリセットされます。

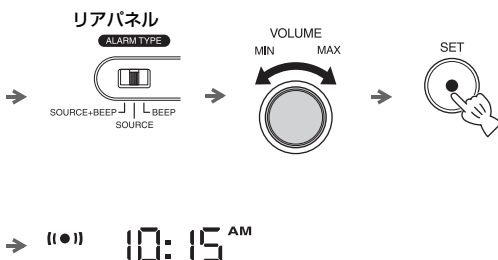
アラームを設定する

設定した時刻に、ラジオとビーブ音を合わせて再生することができます。

■ アラームの時刻、タイプを設定する



- 1 **SET** を押す。
- 2 **TUNING** ボタンでアラーム時刻を設定する。
指定した時刻にアラームが一度だけ鳴ります。



- 3 **ALARM TYPE** スイッチでアラームタイプを設定する。
 - **SOURCE+BEEP** : ラジオとビーブ音を再生します。
 - ラジオ: アラーム時刻の3分前から再生
 - ビーブ音: アラーム時刻に再生
 - **SOURCE** : 最後に聞いていたラジオ局の放送が流れます。
 - **BEEP** : ビーブ音を再生します。
- 4 アラーム音量を設定する。
- 5 **SET** を押す。
アラームが設定され、アラームインジケータ ((●)) が点灯します。

■ アラーム機能をオン / オフにする



アラーム ALARME を押す。

アラーム機能がオンのとき、アラームインジケーター (II●II) が点灯し、アラーム時刻が一定時間表示されます。

アラーム音再生中の操作

設定した時刻になると、選択したアラーム音が再生されます。再生中は、下記の操作が可能です。

■ スヌーズ機能を使用する



スヌーズ スリープ SNOOZE/SLEEP を押す。

一時的にアラーム音を停止し、5 分後に再びアラーム音を再生します。



- アラームタイプが **ソース+ビープ** のときは、**SNOOZE/SLEEP** を一回押すとビープ音を停止し、二回押すと音楽ソースを停止します。音楽ソースが停止してから 5 分後に再び音楽ソースを徐々に音量を上げながら再生し、ビープ音を鳴らします。
- スヌーズ中はアラームインジケーターが点滅します。

■ アラーム音を停止する



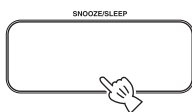
アラーム ALARME もしくは を押す。



- アラーム音を停止しないと、60 分後に自動的に停止します。
- アラーム音を停止しても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。

スリープを設定する

スリープがオンのときに、自動的にシステムオフになるまでの時間を設定します。



繰り返し押します。



スリープインジケーター (ZZ) とフロントパネルディスプレイが点滅します。

システムオフになるまでの時間を選ぶ。

30、60、90、120 分が選択できます。スリープが設定されると、スリープインジケーター (ZZ) がフロントパネルディスプレイに表示されます。



スリープをキャンセルするには、**SNOOZE/SLEEP** を押します。

便利な機能

DTA CONTROLLER



コントローラー
DTA CONTROLLER を使えば、お使いのスマートフォンやタブレットから、ヤマハデスクトップオーディオ製品をより便利に使用できます。

アプリのダウンロード、最新の情報については記載の QR コードから App Store または Google Play へアクセスしてください。

iPhone/iPad/iPod touch



<http://itunes.com/app/dtacontroller>



(米国)
<https://itunes.apple.com/us/app/dta-controller-us/id549333293?mt=8>

Android™




<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.yamaha.av.dtacontroller>

ご注意

- アクセスできない場合は、App Store または Google Play にて「DTA CONTROLLER」を検索してください。
- iPad、iPhone、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。
- Android および Google Play は、Google Inc. の商標です。

DTA CONTROLLER を使用してアラームを設定する

一度 DTA CONTROLLER で ウィークリーアラーム Weekly Alarm を設定すると、本機のアラーム設定画面で Weekly Alarm を選べるようになります。




1d

ワンデイアラーム

ワンデイアラーム

1d (One Day Alarm モード) :

指定した時刻に一度だけ鳴るアラーム



7d

ウィークリーアラーム

ウィークリーアラーム

7d (Weekly Alarm モード) :

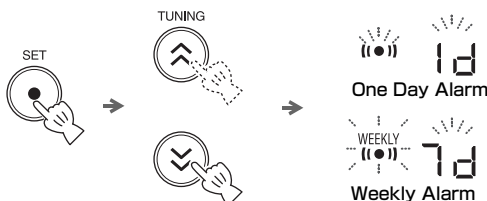
曜日ごとに時刻設定できるアラーム
(「DTA CONTROLLER」でのみ設定できます)

ご注意

Weekly Alarm の曜日設定が全てオフになっている時は Weekly Alarm を選ばせません。いずれかの曜日をオンにしてください。

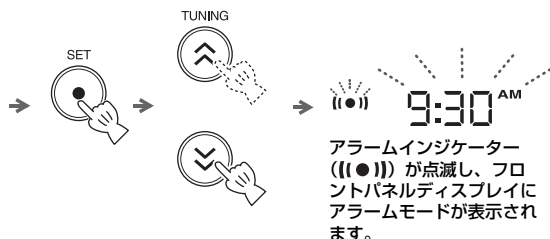
セット

- ① **SET** を押す。
チューニング
- ② **TUNING** ボタンでアラームモードを選択する。



セット

- ③ **SET** を押す。
 - Weekly Alarm モードを選ぶと、アラーム設定が完了し、アラームインジケータ (II●II) とウィークリーアラームインジケータ (WEEKLY) が点灯します。
- ④ **TUNING** ボタンでアラーム時刻を設定する。



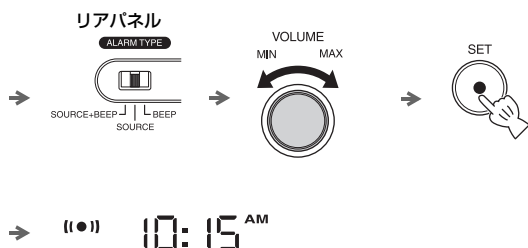
セット

- ⑤ **ALARM TYPE** スイッチでアラームタイプを設定する。
- ⑥ アラーム音量を設定する。
- ⑦ **SET** を押す。
アラーム
アラームが設定され、アラームインジケータ (II●II) が点灯します。



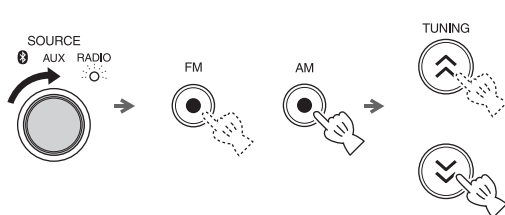
アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。

再度 **ALARM** を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。



ラジオを聴く

放送局を選ぶ



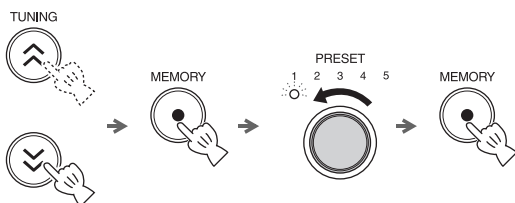
- 1 **SOURCE** を **RADIO** にする。
- 2 **FM**、**AM** を選択する。
- 3 自動チューニング: **TUNING** を長押しする。
手動チューニング: **TUNING** を繰り返し押す。

ご注意

FM 受信中に手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。

放送局をプリセットに登録する

プリセット機能を使って、お好みの放送局を FM/AM それぞれ 5 局まであらかじめ登録できます。



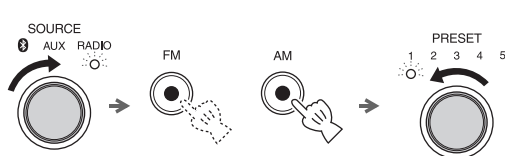
- 1 登録したい放送局を選ぶ。
- 2 **MEMORY** を押す。
- 3 登録したいプリセット番号を選ぶ。



プリセットを途中で止めるには、**TUNING** を押してください。

- 4 **MEMORY** を押して終了する。

登録した放送局を選ぶ（プリセット選局）



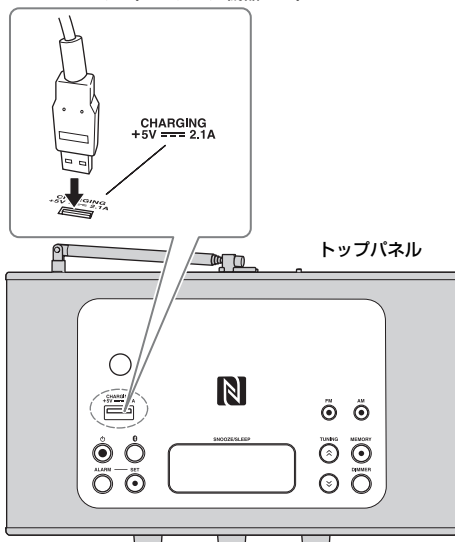
- 1 **SOURCE** を **RADIO** にする。
- 2 **FM**、**AM** を選択する。
- 3 登録した放送局を **PRESET** で選択する。

USB ポートを使用して充電する

本機の USB ポートに、スマートフォンやタブレットコンピューター等のポータブル機器を接続すると、接続した機器を充電することができます (5V/2.1A 出力)。

接続するポータブル機器に適合した USB ケーブルを用意し、その機器が USB 接続により充電可能かを使用前に確認してください。また、ポータブル機器の取扱説明書もお読みください。

USB ケーブル (ポータブル機器から)



- 1 ポータブル機器を市販の USB ケーブルで本機の USB ポートに接続する。
自動的に充電が始まります。
- 2 充電が完了したら USB ケーブルを抜く。
充電状態はポータブル機器で確認してください。

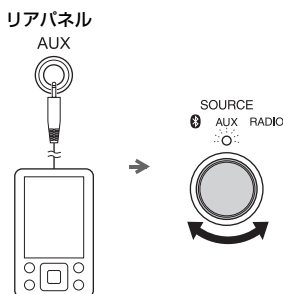
ご注意

- ポータブル機器によっては充電できない場合があります。
- 本機の USB ポートは充電専用です。音楽の再生には対応していません。
- スタンバイ時には給電が止まるため、充電はできません。
- 本機にはデータを記憶する機能はありません。
- 本機を使用中に万が一、ポータブル機器の故障やメモリー内容の消去等が発生した場合でも当社では一切責任を負いかねます。
- 充電が完了しても接続したポータブル機器には電力が供給され続けますので、充電完了後は速やかに USB ケーブルを抜いて下さい。

外部機器の音楽を聴く

外部機器の音楽を聴く

■ 再生



- 1 ポータブルオーディオ機器を市販の 3.5mm ミニプラグケーブルで AUX に接続する。

ご注意

接続する前に本機とポータブルオーディオ機器の音量を十分に下げてください。

- 2 **SOURCE** を **AUX** にする。
- 3 接続したポータブルオーディオ機器を再生する。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

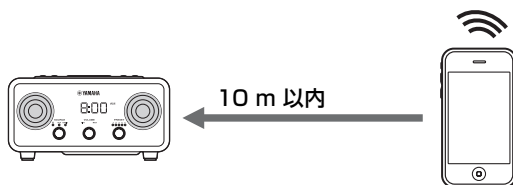
ブルートゥース

本機は Bluetooth 機能を搭載しています。Bluetooth 機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。ご使用の際には、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

設置

以下のことに注意して、安定した場所に設置してください。


- 鉄板などの金属板の上には置かない。
- 本機を布などで覆わない。
- 通信を行う機器（Bluetooth プロファイル A2DP に対応した携帯音楽プレーヤーや携帯電話など）と同じ部屋で、直線見通し距離が 10 m 以内の場所に設置する。
- Bluetooth 機器と本機との間に障害物が無いか確認する。



本機と Bluetooth 機器をペアリングする

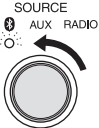
ペアリングとは、通信を行なう機器（以下「相手機器」）を本機に登録する操作です。Bluetooth 機器を初めて本機と Bluetooth 接続するときやペアリング情報が削除されたときには、ペアリングを行なう必要があります。一度ペアリングが完了すると、以降は Bluetooth 接続を切断しても簡単に再接続できます。ペアリングできない場合は、「故障かな?と思ったら」の「Bluetooth」の項（P. 13）を参照してください。



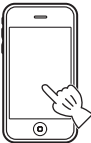
- 本機は最大 8 台の相手機器とペアリングできます。9 台目の相手機器とのペアリングが成功すると、最後に接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。
- 本機が別の機器と Bluetooth 接続している場合は、本体の  (Bluetooth) を押して Bluetooth 接続を切断してからペアリングを行なってください。

■ iPhone/iPad/iPod touch の場合

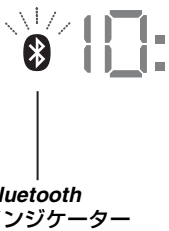
1




2



3




① **SOURCE** を  (Bluetooth) にする。

② iPhone/iPad/iPod touch の [設定] → [Bluetooth] をオンにする。
[デバイス] に Bluetooth 接続リストが表示されます。
(お使いの iPhone/iPad/iPod touch によっては、手順や表示が異なる場合があります。)

③ 相手機器の Bluetooth 接続リストから本機 (YAX-720 Yamaha) を選ぶ。
ペアリングが完了すると、iPhone/iPad/iPod touch に「接続されました」と表示されます。
本機の前面ディスプレイの Bluetooth インジケーターが点灯します。

■ iPhone/iPad/iPod touch 以外の場合

- ① **SOURCE** を  (Bluetooth) にする。
- ② 相手機器で Bluetooth のペアリングを行なう。
詳しくは相手機器の取扱説明書を参照してください。
- ③ 相手機器の Bluetooth 接続リストから本機 (YAX-720 Yamaha) を選ぶ。
ペアリングが完了すると、本機の前面ディスプレイの Bluetooth インジケーターが約 1 秒間点灯します。



パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

■ かんたんペアリング

NFC (近距離無線通信) 機能搭載スマートフォンなら、本機の NFC マークにスマートフォンをかざすだけでかんたんにペアリングができます (あらかじめ本機のシステムをオンにし、接続機器の NFC 機能をオンにしてください)。



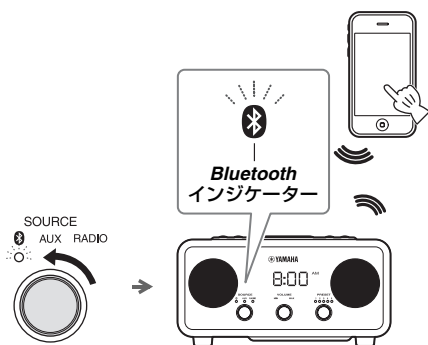
- ① 電源ボタンを押して本機のシステムをオンにする。
- ② 接続機器でペアリング操作をする (詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください)。

本機は接続機器に「YAX-720 Yamaha」と表示されます。



- ・パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力します。
- ・接続がうまくいかないときは、スマートフォンを NFC マークの上でゆっくり動かしてください。
- ・スマートフォンにケースが装着されている場合、ケースをはずしてください。

Bluetooth 機器を再生する



- 1 **SOURCE** を Bluetooth にする。
- 2 本機と相手機器を Bluetooth 接続する。
- 3 相手機器の音楽を再生する。

ご注意

本機の音量設定を大きくしすぎないようにしてください。音量は相手機器で調節することをおすすめします。



- 本機がシステムオフのときに相手機器から Bluetooth 接続して音楽を再生すると、本機は自動的にシステムオンになります。
- 再生ソースが Bluetooth のときに相手機器から Bluetooth 接続を切断すると、本機は自動的にシステムオフになります。
- 再生ソースが Bluetooth のとき、Bluetooth 接続がなく操作もされない状態が 60 分続くと、本機は自動的にシステムオフになります。

ペアリング済みの機器を Bluetooth 接続する

ペアリング済みの機器は、次回より簡単に Bluetooth 接続できます。

■ 本機から接続する

SOURCE を Bluetooth にする。

前面ディスプレイの Bluetooth インジケーターが点滅し、本機が最後に接続した相手機器を探して接続します（あらかじめ相手機器の Bluetooth 設定をオンにしておいてください）。

Bluetooth 接続が完了すると、Bluetooth インジケーターが点灯します。

ご注意

本機はすべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません。



トップパネル上の Bluetooth を押しても、本機が最後に接続した相手機器を探して接続しますが、**SOURCE** は自動的に Bluetooth に設定されません。

■ 相手機器から接続する

- 1 相手機器の Bluetooth 設定で、Bluetooth をオンにする。
- 2 相手機器の Bluetooth 接続リストから本機（YAX-720 Yamaha）を選ぶ。
Bluetooth 接続が完了し、本機の前面ディスプレイに Bluetooth インジケーターが点灯します。

ご注意

本機がスタンバイ時は、相手機器からの Bluetooth 接続はできません。本機をシステムオンにしてください。

Bluetooth 接続を切断する

Bluetooth 接続中に以下のいずれかの操作を行なうと、Bluetooth 接続が切断されます。

- 本機のトップパネルの Bluetooth を押す。
- 本機をシステムオフにする。
- 相手機器の Bluetooth 設定をオフにする。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
スピーカーから音が出ない。	音量が最小に設定されている。 音楽ソースが正しく選択されていない。	音量を調節してください。 正しい音楽ソースを選択してください。
音が突然出なくなる。	スリープ (P. 5) を設定している。	本機のシステムをオンにして再生しなおしてください。
音割れ、音の歪み、異音がする。	入力した音楽ソースの音量が大きい。または本機の音量が大きい。	^{ボリューム} VOLUME で音量を下げるか、 ^{コントローラー} DTA CONTROLLER の音質調整でサウンドを調整してください。
本機が正常に作動しない。	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機のシステムをオフにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムをオンにしてください。
システムをオンにしてもすぐにオフになる。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機のシステムをオフにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムをオンにしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してください。
時刻の設定内容が消えた。	本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。	電力供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された時刻設定が消えてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してください (P. 4)。
アラーム時刻に ^{ラジオ} RADIO が再生されない。	^{アラーム} ^{タイプ} ALARM TYPE スイッチが ^{ビープ} BEEP に設定されている。	^{アラーム} ^{タイプ} ALARM TYPE スイッチを ^{ソース} SOURCE 、もしくは ^{ソース} SOURCE+BEEP に設定してください (P. 4)。
時計が点滅していて、操作ができない。	^{クロック} CLOCK スイッチが ^{セット} SET になっており、時計設定中の状態。	^{クロック} CLOCK スイッチを ^{ロック} LOCK にしてください。

FM/AM 放送局の受信

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多くなる。	選択している放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の放送局の受信感度が良くない。	手動チューニングで雑音を軽減するか (P. 8)、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。 (P. 3)
AM 放送が受信できない。	AM アンテナ (付属品) の接続が外れている。	AM アンテナが正しく接続されているかご確認ください (P. 3)。


USB ポート充電

症状	原因	対策
接続したポータブル USB 機器を充電できない。	本機に対応していない USB 機器を接続した。または、USB 機器が本機に正しく接続されていない。	本機を一度システムオフにしてから USB 機器を接続しなおしてください。もし、再度同じ症状が現れた場合は、接続された USB 機器はご使用できません。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と相手機器がペアリングできない。	相手機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	Bluetooth アダプターなどの機器でバスキーが「0000」以外になっている。	バスキーが「0000」の機器をご使用ください。
	本機と相手機器の距離が離れすぎている。	相手機器を本機に近づけてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
Bluetooth 接続ができない。	本機が相手機器の Bluetooth 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください（P. 10）。
音が出ない、または音が途切れる。	本機と相手機器との Bluetooth 接続が切断された。	接続し直してください（P. 12）。
	本機と相手機器の距離が離れすぎている。	相手機器を本機に近づけてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	相手機器の Bluetooth 設定がオフになっている。	相手機器の Bluetooth 設定をオンにしてください。
	相手機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	相手機器の Bluetooth が正しく設定されているか確認してください。
	相手機器の出力切替が本機になっていない。	相手機器の出力切替を本機にしてください。
	相手機器の音量が最小になっている。	相手機器の音量を上げてください。

■ 本機をリセットする

本機の操作ができなくなったときなどに、リセットすることで問題が解決する場合があります。本機をリセットするには、本機の  ボタンを 10 秒以上押し続けてください。

主な仕様

■ プレーヤー

AUX IN

- 入力端子
.....ステレオ L/R: 3.5 mm ステレオミニジャック

■ アンプ / スピーカー

- 最大出力..... 4 W + 4 W + 8 W
(6Ω 1 kHz、10% THD)
- ドライバーユニット.....4 cm フルレンジドライバー ×2
5.5 cm ウーファー + SR Bass ×1

■ Bluetooth

- Bluetooth バージョン..... Ver. 2.1+EDR
- 対応プロファイル..... A2DP、AVRCP
- 対応コーデック..... SBC、AAC
- 無線出力..... Bluetooth Class 2
- 最大通信距離..... 10 m（障害物が無いこと）
- 対応コンテンツ保護..... SCMS-T 方式

■ チューナー

受信周波数範囲

- FM.....76.0 ～ 90.0 MHz
- AM.....531 ～ 1611 kHz

■ チャージ端子

- 端子形状.....USB_A 型
- 出力定格.....5 V/2.1 A

■ NFC（近距離無線通信）

- 対応機種.....NFC 対応 Android 機器 Ver. 4.1、4.2
- ※ 機種によっては動作しない、または接続可能な距離が異なる場合があります。

■ 総合

- 電源電圧 / 周波数.....AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力..... 22 W
- システムオフ時消費電力..... 1.9 W
- スタンバイ時消費電力.....0.5 W 以下
- 外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）
.....210 × 110 × 144 mm
- 質量..... 1.4 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ窓口

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号楼A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を永らく安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1



© 2013 Yamaha Corporation

ヤマハ株式会社
Printed in China ZJ74560